



「ノーベル賞 受賞者のことばの重み 」

副校長 鈴木 勝博

「無用の用」 ノーベル化学賞 受賞 北川 進さんのことば

「一つ一つ」 ノーベル生理学・医学賞 受賞 坂口 志文さんのことば



2025年に京都大特別教授の北川進さんがノーベル化学賞に、大阪大特任教授の坂口志文さんがノーベル生理学・医学賞に選ばれました。ノーベル賞を受賞した2人の言葉を紹介します。

北川さんは、無数の穴に物質を自由に出し入れできる金属有機構造体を開発しました。水素の貯蔵、二酸化炭素の回収などさまざまな応用が可能で、地球規模のエネルギー、環境課題の解決に道が開けると期待されています。

論文の発表当初は、信ぴょう性が疑われ、研究者から「うそつき」と言われ、苦勞したそうです。

その中で、北川さんを支えたということばが「無用の用」です。中国の荘子の言葉で、一見役に立たないものが、実は役に立つという意味で、「(研究に)強い影響を与えた。無用のものなど存在しない」と話しています。

坂口さんは、体内の過剰な免疫反応を抑えるリンパ球の一種「制御性T細胞」を発見しました。免疫に“アクセルとブレーキ”があることを発見し、病気の治療にもつながる道を開いたことが評価されました。

坂口さんは、30年以上前にその存在に気づいていましたが、受け入れてもらえなかったそうです。しかし、「一つ一つ」という言葉を自分に言い聞かせて、実験や論文に取り組んだそうです。

「自分で興味があることを大切にしていくと、だんだん形がはっきりしていき、気がついたら面白い境地に達している。そういうことが起きれば、どんな分野でも面白い」と語っています。



日本初のノーベル賞を受賞した湯川秀樹さんは、「学問とは自分を納得させることである」と言っています。

今日はノーベル賞を受賞した3人のことばを紹介しました。

中学生のみなさんにとって、学問や運動、文化的活動、生活などはやらされてやるのではなく、自分の意志で努力することに意義があるのだと思います。

今後、夢中になれるものを見つけられると人生が豊かになるはずです。無限大の可能性をもつ三中生のみなさんが、将来どう生きていくのか楽しみです。

スキー移動教室(1年生)

生徒一人ひとりがスローガン「Let's make friendships ～ルールの中の最高の景色～」のもと、きまりやルールを守ってみんなで協力して行動したことで、このスキー移動教室を無事に成功することができました。

1日目は、初めて滑る生徒たちに不安なようすも見られましたが、3日目には、リフトに自信を持って乗り滑ることができる生徒も増え、「仲間と助け合いながらスキーを滑ることができ楽しかった」という声が多くの子から聞こえました。1学年全員の「頑張り抜く力」と「協力の精神」を強く感じた3日間でした。保護者の皆様には、ご準備や健康観察等含め、多大なご協力を頂き誠にありがとうございました。



そして、生徒のみなさんへ……1年生のみなさん、よく頑張り抜きましたね！3日間、皆で強い気持ちをもって滑り切ったことに、「よく頑張った」と心から褒めたいと思います。また、実行委員(後期学級委員)を中心に、きまりやルールを守った上で良い景色を見ようという、



Let's make friendships ～ルールの中の最高の景色～」というスローガンを掲げ、全員が絶対に行事を成功させようという意識で3日間過ごしていたことも素晴らしかったです。

1学年全員の「頑張り抜く力」と「協力の精神」を強く感じた3日間でした。先生も皆さんとスキー移動教室に行くことができ、本当に良かったです。1年生の皆さんに感謝です。

【第1学年 スキー移動教室担当 長谷川】

校外学習(2年生)



一つもなく、移動中のトラブルも一切なく上野・浅草に到着することができました。

上野・浅草での生徒の表情を見ると、この日を楽しみにしていた気持

朝の気温が氷点下の中、1月30日(金)、2学年は上野・浅草方面に校外学習に行きました。職場体験に並ぶ学年の二大行事である校外学習でしたが、実行委員会のスローガン「Let's make memories～五感で感じろ!東京の宝探し～」をしっかり実践し、大きなトラブルもなく立派に締めくくってくれました。

当日の朝は、気温-2℃とかなりの寒さの中、花小金井駅に集合しましたが、朝チェックに遅れる班は





ちが全面に表れており、ハツラツとしていました。

自分たちでコースを計画し、計画通り行動できたことは、スキー教室での宿泊学習の成功と合わせて、学年集団としての大きな成功体験になったと感じています。

上野動物園のパンダが直前で中国に返還されてしまったことだけが心残りでしたが、来年の修学旅行につながるとても良い日になりました。

【2学年校外学習担当 佐藤 雄太】

今月は学年末考査があります・・・そこで一言



「集大成の2月。万全の準備で学年末考査へ」

立春を過ぎ、暦の上では春が始まりましたが、まだまだ寒い日が続いています。いよいよ今月は、今年度の学習の締めくくりとなる「学年末考査」(25日水曜日～26日木曜日)が行われます。

この1年間、皆さんはどれだけ成長できたでしょうか。学年末考査は、単に点数を競うものではなく、この1年間に積み上げてきた知識やスキルを自分のものにできているかを確認するための大切な節目です。中学生の学習は、積み重ねが肝心です。テストまでの過ごし方は次年度への「架け橋」となります。そして、テスト勉強は「今の自分に何が足りないか」を見つけるチャンスです。定期テストの試験範囲は広く大変ですが、ここを乗り越えることが、4月からの新しい学年でのスムーズなスタートに直結します。スマホやゲームの時間を少しだけ「未来の自分」のために使ってみませんか。



○【1年生】「中学生」としての基礎を固め、2年目へ

「中学1年間の総仕上げ。自信をもって先輩になるために」

入学から10ヵ月が経ち、心身ともに大きく成長した1年生。2月の学年末考査は、いわば「中学学習の土台」を確認する非常に重要な試験です。1年生の学習内容は、これから2、3年と進むにつれてより高度になる内容の全ての基礎となります。ここで「わからない」をそのままにしまうと、進級後に苦勞することになりかねません。「学年末試験」に向けて、計画の立て方やノートのまとめ方など、この1年で学んだ学習習慣をフルに活用してみましょう。4月に頼もしい「先輩」として新入生を迎えられるよう、この2月を、自分自身を高める1ヶ月にしてください。

○【2年生】「中堅学年」から「最高学年」へのバトンタッチ

「いよいよ「最高学年」へのカウントダウン。自分を律する2月に」

2年生にとっての2月は、学校のリーダーとしてのバトンを引き継ぐ最終準備期間です。3年生が受験に立ち向かう背中を見ながら、次は自分たちの番であるという自覚が芽生え始めていることでしょう。

今回の学年末考査は、「3年生のゼロ学期」の試験とも言われます。少しずつ思い描き始めている自分の進路。それを意識し始めるこの時期、自分の得意・不得意を客観的に見つめ直す絶好の機会です。

部活動との両立は大変ですが、限られた時間の中でどう効率よく学習するか、その試行錯誤こそが受験生としての力になります。「まだ先のこと」ではなく「今、目の前の1ページ」が未来につながっていることを忘れず、自分を律して取り組んでいきましょう。

○【3年生】最後の一步を、力強く

「悔いのない締めくくりを。その努力は一生の宝物になる」

3年生にとって、今月は義務教育9年間の学習の集大成となる時期です。すでに進路が決まった人も、これ



から入試の本番を迎える人も、教室の空気は一つです。

学年末考査は、中学校生活で受ける最後の定期テストとなります。結果を出すことはもちろん大切ですが、それ以上に「最後まで投げ出さずに机に向かった」という事実が、卒業後の皆さんの支えになります。

不安や焦りを感じることもあるでしょう。しかし、今日まで積み上げてきた時間は嘘をつきません。

ん。体調管理に細心の注意を払い、共に切磋琢磨した仲間、そして支えてくれた家族への感謝を胸に、最後の一步を力強く踏み出してください。

ご家庭におかれましても、お子様が落ち着いて学習に取り組めるよう、温かい励ましと環境づくりをお願いいたします。 【校長】

生徒の活躍

★男子バスケットボール

○第76回東京都中学校バスケットボール新人大会

・1回戦 対 駒場東邦中学校 64対42【勝】・2回戦 対 篠崎中学校 39対64【負】

★卓球部

○第10ブロック新人卓球大会【5位】安里 香南

★美術部

○東京都薬物乱用防止推進小平地区協議会主催 薬物乱用防止ポスター部門

【会長賞】江藤 花菜 【佳作】齋藤 結仁・小林 夢依・七島 康太朗・牧野 日花里

★ポスター部門にて 学校表彰・薬物乱用防止活動率先校

★吹奏楽部

○JBAとうきょう・かながわ第28回管打楽器ソロコンテスト

【1位・審査特別賞】井口 結彩 【2位】大迫 真尋 【3位】野本 杏珠

○第59回東京都中学生アンサンブルコンテスト【金賞】 全国大会選考会・代表選出

○第49回東京都アンサンブルコンテスト中学生の部 木打八重奏【金賞】

※ 第49回全日本アンサンブルコンテスト(3月21日・広島)代表選出

★陸上競技部

●第46回こだいら市民駅伝大会

○中学生男子の部 【1位】Aチーム 【3位】男子Bチーム ○中学生女子の部 【3位】女子チーム

●第64回東京都中学校ロードレース大会

○男子2・3年2km競走 【1位】湯沢 亘 【4位】中村 羽優真・寺島 颯汰

○男子1年2km競走 【1位】ロビンソン 凜音 【2位】大場 晴仁・中島 稜斗 【6位】今西 春樹

○女子2・3年1km競走 【6位】太田 悠月 ○女子1年1km競走 【6位】田村 咲希子

これからの予定

○2月25日(水)・26日(木)

○3月4日(水)

○3月6日(金)

○3月13日(金)

○3月19日(木)

○3月24日(火)

○3月25日(水)

学年末テスト

笑顔プロジェクト

保護者会(1・2年、10組) 地域未来塾

卒業式予行

第65回卒業式

大掃除

修了式

